

園庭でゆったりとメダカの家ができるよ

うさぎ組の前でメダカを飼います。子供たちが、生き物のお世話を通して命の尊さに気付いたり、大切にしようとする気持ちが持てるようになって欲しいと思います。乳児さんは、天気の良い日は園庭で外気浴をします。涙が出ていても園庭へ出るとピタッと止まり、お兄さんやお姉さんがメダカのお世話をしている様子をじっと見たりするでしょうね。



だんだんと水が濁って来たら、先生と一緒に水を換えたりします。「どうやって換えたらいいかな？」と話しながら、友だちと顔を見合わせてしばらく考え、先生と相談しながら考えた意見を出し合います。エサやりも子供たちはやる気満々！！水槽のお掃除も、水槽を洗うチームや、メダカや水草を違うお家に入れりするチームに分かれて真剣に取り組んでくれると思います。水槽はスポンジを使って隅々までゴシゴシ磨いてね。水草の感触を楽しんだり、きれいになった水槽の水を眺めたり、お掃除の後は、きれいになった水槽にメダカを戻し、餌をあげて静かに見守ってね。

メダカ飼って
だメダカあ？

全ての生き物に命があること、そしてその生き物が住みやすい環境を作ってあげることも、また飼うものの大事な役目。年長ではなおのこと、そんな心が育っていく環境を作り、考える機会をクラスで作っていくことが大事だと、メダカを見て感じています。飼育物を自分の仲間のように感じる事が出来れば、きっと生き物へのより深い興味や、理解、愛着が生まれると思います。小さな生き物にもしっかりと心が寄り添える、そんな子供たちに育てたいと思います。 (こ)

